

平成 28 年度 支援センターみらい
事業報告

【概 況】

1. 就労移行支援事業所ふつーるは、4 名が一般就労されました。利用者状況は、延べ在籍者数 9 名、入所者 1 名、退所者 9 名（一般就労による退所が 4 名、他の就労移行事業所への移行 1 名、A 型事業所への入所 1 名、B 型事業所への入所 3 名）です。事業廃止に伴う利用者の受入先確保が最重要課題となっていました。一般就労を含め全員の受入先を決めることができました。今後はふつーるを通じて就労された方へのバックアップを、多機能型事業所みらいの就労継続支援 B 型事業にて、就業・生活支援センターと連携しながら実施していきたいと考えております。

また、今回の事業廃止に伴い、開設補助金について、減価償却できていない部分を返還する必要があり、約 420 万円を見込んでいます。

2. グループホーム事業においては、年間を通じて職員の欠員状態が続き、センターをはじめ各事業の職員の協力を得ながらの運営となりました。求人活動としては、大型グループホームの開所を含めた職員募集を積極的に行い、求人広告費として約 130 万円を支出し、人材の確保に努めました。

その大型グループホームについては、利用者・ご家族のご意見も頂きながら、ハウスメーカーとの打ち合わせを重ね、12 月末には建物がほぼ完成し、3 月に法人へ引き渡されました。利用者は定数に達し、4 月から事業を開始する予定です。ショートステイ事業については、ホームのご利用者が生活に慣れてから運営を始めたいと考えています。

また、スプリンクラー設置問題については、設置基準の緩和を行政に対して働きかけて参りましたが、大きな動きはなく、厳しい現状が続いています。しかし、その遣り取りの中で内装工事のみで対応が出来るケースが明らかになるなど、一定の成果を得ることができました。併せて、スプリンクラー設置にかかる補助金（施設整備費等補助金）の申請を行い、交付決定の通知をいただきました。

3. 相談支援事業所みらいにおいては、市内の相談支援体制を整える為に委託の役割の一つである指定事業所のバックアップに重きを置き、計画相談は指定の事業所に依頼しました。そのため、計画相談契約件数は昨年度とほぼ同じ 153 件（法人内の契約は 86 件）でした。収支については、法人外のケース対応に人手と時間を要することや職員が兼務状態であることなどが要因で、サービス等利用計画案の作成以降の業務が進まず、結果的に減収となりました。地域移行・地域定着支援における契約は今年度もありません。

なお、今年度も豊中市障害者自立支援協議会や障害相談支援ネットワーク「えん」へ積極的に参加し、本市における相談支援の課題について検討を行ないました。

4. ヘルパーステーションあしすとの利用状況は、移動支援が前年度比約13.5%減、居宅介護は2%減となりました。ヘルパー不足によるサービス提供の不安定さと、支援の質の低下により、利用者があしすとから離れたのではないかと考えられます。今後の課題は、例年同様にヘルパーの確保と質の向上であり、それらを改善することにより収入増を実現したいと考えています。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

就労移行支援事業ふつーる

1. 利用者状況（平成29年3月31日現在）

(1) 在籍状況

男性 3名 女性 2名 合計 5名

・入所1名（在宅1名）

・退所4名（一般就労3名、就労継続B型事業所1名）

(2) 出席状況(各月初値)

74/240(人) 年間在籍率 30% 出席率 60%

平均年齢 32.2歳(20歳から48歳)

	4月	5～9月	10,11月	12,1月	2,3月	合計
男性	4	4	5	4	3	48
女性	4	2	2	2	2	26
合計	8	6	7	6	5	74

(3) 障害程度

①療育手帳

A	0
B 1	1
B 2	2

②精神障害者保健福祉手帳

1級	0
2級	1
3級	0

2. 日課・週間プログラム

【日課】

午 前		午 後	
9:00～9:20	登所・更衣	12:00～13:00	昼食・休憩 (喫茶は11:30から交代制)
9:20～9:30	朝礼	13:00～16:00	活動(適宜休憩)
		16:00～16:20	更衣
9:30～12:00	活動(適宜休憩)	16:20～16:30	終礼・降所

【週間プログラム】

	月	火	水	木	金
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃

○マドレーヌ販売…くらしかん(月2回)、国際交流センター(月1回)

○豊島高校清掃…月4回(不定期) ○社会技能訓練…随時

3. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) サービス管理責任者(1) 就労支援員(1) 事務員(1)
非常勤職員：職業指導員(1) 生活支援員(2)

4. 建物・設備維持管理

- ・消防設備点検…7/29、11/28(リタテクニカ)
- ・害虫駆除…4/14、6/16、8/18、10/13、12/15(ファシテック広洋)
- ・空調清掃…6/20(ファシテック広洋)
- ・全館清掃…12/3(ファシテック広洋)

5. 車両管理・送迎管理

【車両管理等】

	キャラバン	ムーヴ
車 検	9/10	なし

【修繕等】

(キャラバン)

12月 ラジエーター交換

【送迎管理】

特別送迎

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

利用なし

6. 年行事等

日にち	行事名	行先・場所	参加人数	特記事項
5/21	余暇活動(外出)	服部緑地公園	6	バーベキュー
8/22	余暇活動(外出)	天王寺 (通天閣・天王寺動物園)	6	
10/7	スポーツフェスタ	豊島体育館	7	
11/10	宿泊訓練	和歌山(南紀白浜など)	5	
12/23	余暇活動 (クリスマス会)	支援センターみらい	6	調理実習
2/18	余暇活動(外出)	兵庫県猪名川 フルーツファーム果楽土 (からっと)	5	イチゴ狩り

7. 健康管理

- ・健康診断：6/22（利用者6名）山口記念診療所
- ・インフルエンザ予防接種：11/17、18（利用者6名）山口記念診療所
- ・厨房業務は月1回の検便実施

8. 防災

日にち	内容	参加人数
7/8	避難訓練（地震）	11
1/13	避難訓練（火災）	11

9. 活動支援の取組み

① 就職（4名）

4月…オリックスリビング（池田、千里ひなた）

12月…神戸屋（緑ヶ丘）

H29年4月…原田介護予防センター

② 雇用前実習（5名）

・やまや関西（牧落） …9/15～10/1

・神戸屋（緑ヶ丘） …10/27～11/4

・原田老人福祉センター …2/15～17

③ その他

・社会技能訓練（マナー講座、履歴書の書き方、面接の受け方、就職フェアへの参加など）

・喫茶（接客、製菓、出張販売）

・企業実習（川瀬彦）

・清掃実習（みらい、豊島高校）

・施設外実習（水道局敷地草抜き）

※平成28年度売上総額 1,202 千円

内訳：喫茶業務 21%、清掃業務 62%（みらい 21%、豊島高校 41%）

企業内実習 16%、その他 1%

10. 広報・実習

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第13号	4/28	450部
2	第14号	11/1	450部

【利用体験実習受入】

・なし

【体験利用受入】

・なし

【支援者実習受入】

・なし

11. 苦情対応

- ・施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ面談の場や連絡帳でも受け付けている。

12. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/10	感染症・食中毒 予防対策講習	福祉と人権の 研修ネットお おさか	感染予防	吹田市文化会館	飯田
6/13, 14	サービスマナー セミナー（初級）	大阪府社会福 祉協議会	サービスマナー	葉業年金会館	池田
6/23	就労支援入門講座	一般社団法人 Me2	就労支援	豊中市立桜塚会館	内田
7/12～ 14 7/21	就業支援基礎研修	独立行政法人 高齢・障害・求 職者雇用支援 機構	就労支援	クラボウアネックス ビル	中島
12/9	法人全体研修	法人本部	ハラスメント	みらい	全員
2/14	知的障がいの子どもの性 の悩み、一緒に考えます	豊中市手を つなぐ育成会	人権	豊中市障害福祉 センターひまわり	砂川
2/17	法人全体研修	サービス向上 委員会	障がい特性から見 る支援の考え方	第2みらい	池田

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
ふつーる会議	12	毎月最終木曜日（センター長、主任、ふつーる職員）

- *その他 虐待防止委員会 2回、第三者委員会 2回
所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
サービス向上委員会(主任、他)、個別支援計画会議（主任以下）

栗ヶ丘ホーム (共同生活援助)

1. 利用者状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(1) 在籍状況

栗ヶ丘ホーム：男性 3 名、女性 1 名
末広ホーム：男性 5 名
若竹ホーム：女性 3 名
桜塚ホーム 1：男性 3 名
桜塚ホーム 2：男性 3 名
桜塚ホーム 3：男性 2 名
旭丘ホーム：男性 4 名
桜塚ホーム 5：女性 3 名 合計 27 名

(2) 利用状況

栗ヶ丘ホーム：1286/1460 (営業日×4 名) 利用率 88.0%
末広ホーム：1198/1315 (営業日×5 名) 利用率 91.1%
若竹ホーム：913/1460 (営業日×4 名) 利用率 62.5%
桜塚ホーム 1・2：1362/1422 (営業日×6 名) 利用率 95.8%
桜塚ホーム 3：708/1092 (営業日×3 名) 利用率 64.8%
旭丘ホーム：775/984 (営業日×4 名) 利用率 78.8%
桜塚ホーム 5：719/1092 (営業日×3 名) 利用率 65.8%

2. 職員体制等

管理者 1 名 (兼務)、サービス管理責任者 1 名 (専任)、事務員 1 名 (兼務)

栗ヶ丘ホーム：生活支援員 1 名 (月～金)
 生活支援員 1 名 (土)
 生活支援員 1 名 (日)
 世話人 1 名 (月～土)
末広ホーム：生活支援員 1 名 (月、木、金)
 生活支援員 1 名 (水、金)
 生活支援員 1 名 (木、金 7:00～9:00)
 生活支援員 1 名 (火、木 16:30～20:30)
 世話人 1 名 (月～金)
若竹ホーム：生活支援員 1 名 (月～水)
 生活支援員 1 名 (木～土)
 生活支援員 1 名 (日)

世 話 人 0 名 (欠員)
桜塚ホーム 1・2 : 生活支援員 2 名 (月～金)
世 話 人 1 名 (月～金)
桜塚ホーム 3 : 生活支援員 1 名 (月、金、土)
生活支援員 1 名 (火～木)
生活支援員 1 名 (日)
世 話 人 1 名 (月～金)
旭丘ホーム : 生活支援員 1 名 (月、水、木)
生活支援員 1 名 (火、金)
世 話 人 1 名 (月～金)
桜塚ホーム 5 : 生活支援員 1 名 (月、金)
生活支援員 1 名 (火、木)
生活支援員 1 名 (水、土)
生活支援員 1 名 (日)
世 話 人 1 名 (月～金)

計 生活支援員 19 名・世話人 6 名

3. 建物・設備維持管理

栗ヶ丘ホーム : 自転車置き場造成、植木剪定
末広ホーム : 植木剪定
若竹ホーム : 冷蔵庫買い替え
桜塚ホーム 1 : パッケージ型スプリンクラー設置
桜塚ホーム 3 : 洗濯機買い替え
原田ホーム : 開所準備に伴う備品購入
全ホーム : 消防設備点検 (年 2 回)

4. 送迎管理

土曜日の午前中を基本とし、支援センターのキャラバン (10 人乗り) 及び第 2 みらいキャラバン (10 人乗り) を使用して、ホームから自宅等への送迎を実施。

運転業務 (1 名) を直接雇用し、添乗業務 (1 名) をシルバー人材センターに業務委託。

栗ヶ丘・末広 : 第 2・第 4 土曜日 (センターキャラバン)
桜塚 1.2・桜塚 3 : 第 1・第 3 土曜日 (第 2 みらいキャラバン)
旭丘・桜塚 5 : 第 1・第 3 土曜日 (センターキャラバン)

5. 年行事等

各ホーム余暇支援を実施（上限 3 回/年）したが、職員不足で対応できないこともあった。次年度以降はホームが増加することもあり、基本的に余暇支援を行わない予定。

6. 健康管理・給食

【健康管理】

毎朝の検温、各利用者の服薬管理はもとより、排便、排尿の確認など、常に利用者の健康管理に配慮。また、利用者が体調を崩した際は、ホーム、センター、日中事業所、ご家族等と連絡をとり、早急に対応するよう努めた。

【給食】

夕食・朝食とも世話人が、基本的には当日購入した食材をその日のうちに調理し提供するように努めた。また毎月 1 ヶ月分の献立を作成し、栄養バランスを考えた食事の提供に努めた。

旭丘、桜塚 5 については食材宅配サービスを利用し、夕食の提供を行った。献立がある程度決まっているため、世話人の交代などによる食事への影響は少ないと考えているが、他ホームと比べ 1 食あたり 100 円ほど食費が高くなっている。

末広ホームについては世話人が交代したことに伴い、利用者及びご家族からのニーズに基づき、食材宅配サービスから世話人が献立を作成しての食事提供に変更。

7. 防災

各ホームにおいて地震や火災を想定し、避難訓練を年 3 回実施した。

8. 活動支援の取組み

各ホームで独自に工夫して取り組んでいる。散歩や買い物に出かけることで運動の機会を提供したり、調理補助や洗濯物干し等、ご自分でできることに取り組んで頂いたり、生活力の向上にも努めた。カラオケやゲーム、テレビ等、余暇支援も行った。

9. 広報活動

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者、近隣住民の皆さんなどに知って頂くことを目的に、2 回発行した。

	号	発行日	部数
1	第 13 号	4/28	450 部
2	第 14 号	11/1	450 部

【地域交流】

栗ヶ丘ホームでは地域のお祭りに参加させていただき、交流を図った。桜塚府営住宅のホームでは、自治会活動へ積極的に参加した（敷地内の公園や団地周辺の定期清掃など）。

10. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場でも受け付けている。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	グループホーム利用中に本人の自傷とは考えにくいケガをしていたが原因不明との報告を受けた。 【末広】	聞き取り等による調査行ったが、原因は不明。しかし、自傷行為によるものとの根拠もないうえ、当日勤務の職員が利用者への対応に不適切と思われる行動が見られたとの情報もあったため、当該職員の異動を行いご家族へ報告。あわせて障害福祉課へ経過報告書の提出を行った。
ご家族	支援者の段取りが悪く、入居者が3名いるが1名としか関わっておらず洗濯物の干し方も悪く乾かせていない事もある。 【桜塚Ⅱ】	対応の不備を謝罪。支援員へ聞き取りを行い、利用者1名の支援に手間取っている事が判明。要領の悪さもうかがえる為、当該支援員への指導を行い、ご家族へもその旨を報告。

11. 職員研修・会議等

【職員研修】

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/10	感染症・食中毒予防対策講習会	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	感染予防	吹田市文化会館 大ホール	廣嶋 島津 丸山 三田

7/12	人権問題事業者学習会	豊中市 人権政策課	障がいのある方への配慮について	豊中人権まちづくりセンター	磯中
12/9	法人全体研修	法人本部	ハラスメント	みらい	全員
2/14	知的障がいの子どもの性の悩み、一緒に考えます	豊中市手をつなぐ育成会	人権	豊中市障害福祉センターひまわり	中山
2/17	GH事業者連絡会研修	GH事業者連絡会	A B Aで問題行動を減らそう	豊中市障害福祉センターひまわり	ホーム職員
2/17	法人全体研修	サービス向上委員会	障がい特性から見る支援の考え方	第2みらい	全員

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、主任、サビ管）
ホーム会議	12	毎月最終火曜日（センター長、サビ管、ホーム職員）
世話人会議	1	不定期（センター長、サビ管、世話人）

- *その他 虐待防止委員会 2回、第三者委員会 2回
 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
 サービス向上委員会（主任、他）、個別支援計画会議（主任以下）
 家族会（毎月1回または隔月1回、各ホームにて実施）
 グループホーム事業者連絡会（センター長）

相談支援事業所みらい

1. 利用状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

- | | | |
|-----------------|------|----------|
| ・ 計画相談支援事業 | 契約件数 | 法人内 86 件 |
| | | 法人外 64 件 |
| ・ 障害児相談支援事業 | 契約件数 | 法人外 3 件 |
| ・ 地域移行、地域定着支援事業 | 契約件数 | 0 件 |

2. 職員体制等

- 常勤職員：管理者(1) 相談支援専門員 (2)
非常勤職員：相談支援専門員(1) 事務員 (1)

3. 支援内容の一例

- ・ 計画相談支援、障害児相談支援における、サービスの調整
- ・ 相談者の不安軽減の為に、面談の実施
- ・ 障害基礎年金、難病申請などの申請の支援
- ・ 障害児入所施設からの移行支援 など…

4. 広報

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2 回発行した。

	号	発行日	部数
1	第 13 号	4/28	450 部
2	第 14 号	11/1	450 部

5. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を 1 名配置。

申出者	苦情内容要旨	対 応
ご家族	1 年前に次回の受給者証更新時には計画相談を当事業所にとお願いしていたが、誕生月が過ぎても受給者証が届かない。	その当時の記録がなく、事実関係が不明だったが、家庭訪問を行い謝罪。今回は、セルフプランの作成を支援し、来年（H29 年 2 月）更新時には計画相談支援をさせて頂く事で納得頂いた。

ご本人	CD ラジカセのマイク差し込み部分にマイクの接続部分がはまってしまい取れなくなり、相談員にCD ラジカセを開けて接続部分を取って欲しいと懇願されたので開けた（何度も断ったが）。その後、徐々に状態が悪くなり、結局何も聞けなくなったので弁償してほしい。	CD ラジカセの機種が古いため、部品がなく修理不可能。その為、メーカーが1万円をご本人に支払われた。新しいCD ラジカセを家電量販店で購入されるため、1万円ですらない分を事業所が弁償。
-----	--	--

6. 委託事業

スポーツレクレーション事業（豊中市生活アシスタント事業）

内 容：音楽レクレーション

委託先：NPO 法人ゴールドデンベル

実 績：12回実施（月1回） 延べ参加人数…281人

※本事業については、次年度から市が直接実施するため、今年度をもって受託終了となりました。

7. 職員研修・会議等

【職員研修】

・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
5/13 5/16 5/30	平成28年度大阪府相談支援従事者専門コース別研修	大阪府障がい者自立支援センター	障がい児支援	大阪府教育会館 たかつガーデン	山田
11/28	ひきこもり支援者のための勉強会（CRAFTプログラム）実践講座	豊中市保健所	ひきこもり支援	豊中市保健所	内海
12/9	法人全体研修	法人本部	ハラスメント	みらい	全員
12/22	マッセ市民セミナー「寄り添いながら支える～期待される市民後見人～」	大阪府社会福祉協議会 大阪後見支援センター	後見人制度	大阪府社会福祉会館	山田

1/11 1/17 1/18	大阪府相談支援従事者現 任研修	大阪市障害者 福祉 スポーツ協会	相談支援	大阪府教育会館 たかつガーデン	小松
2/14	知的障がいの子どもの性 の悩み、一緒に考えます	豊中市手を つなぐ育成会	人権	豊中市障害福祉 センターひまわり	内海
2/17	「成年後見人制度が地域 で担う役割」～障がい者の 自立を目指す権利擁護た かつきの取り組み」	とよなか障害 者就業・生活支 援センター	成年後見人制度	ホテルアイボリー	内海
2/17	法人全体研修	サービス向上 委員会	障がい特性から 見る支援の考え 方	第2みらい	全員

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
職員会議	12	毎月第1火曜日（センター長、主任、相談員）

*その他 虐待防止委員会 2回、第三者委員会 2回
所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
えん全体会（毎月1回）、サービス向上委員会（主任、他）
福祉協会相談支援部会（相談員）

ヘルパーステーションあしすと (居宅介護・重度訪問介護・移動支援)

1. 利用状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

① 平成 28 年度利用実績 ()内は昨年度実績

	移動支援事業		居宅介護事業	
	件数	時間	件数	時間
4 月	35 (34)	434(318.5)	8 (14)	146.5(131)
5 月	33 (35)	446(377.5)	10 (13)	175(199)
6 月	35 (36)	385.5(412)	10 (14)	123.5(113.5)
7 月	34 (37)	419(443.5)	9 (11)	165.5(141)
8 月	35 (40)	405(507)	9 (12)	113.5(182)
9 月	34 (42)	419.5(541.5)	11 (13)	159.5(159)
10 月	36 (44)	425.5(540.5)	10 (11)	139(138.5)
11 月	33 (41)	363(505.5)	7 (8)	152.5(143.5)
12 月	34 (39)	393.5(487.5)	12 (11)	187(165.5)
1 月	31 (40)	387(455)	11 (10)	171.5(163)
2 月	30 (41)	368.5(480.5)	10 (13)	110(125.5)
3 月	31 (43)	392.5(523.5)	13 (11)	134.5(151)
計	(471)	4828.5(5590.5)	(141)	1778(1814)

② 利用契約者数

○移動支援…69 名 (昨年度比-6 名)

○居宅介護…26 名 (昨年度比-4 名)

2. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) サービス提供責任者(1)

非常勤職員：事務員 (1)

登録ヘルパー (34 名、昨年度比-26 名)

※登録ヘルパーについては、勤務実績のないヘルパーの登録を抹消しています。

3. 広報

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、2 回発行した。

	号	発行日	部数
1	第 13 号	4/28	450 部
2	第 14 号	11/1	450 部

4. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を 1 名配置。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	<p>新しいヘルパーが支援する際に、初回はせめて駅まではサ責などが同行してほしかった。視力が悪いため、引き継ぎをヘルパーに問うが「弱視ときいている」との返答だけで、支援で気を付ける点などを聞きたかった。</p> <p>また、そのヘルパーは遅刻したり、支援の日を間違えたりすることがあった。</p>	<p>計画相談のモニタリングの際にお聞きしたため、直接謝罪。以後は初めて支援する際には、必ず引き継ぎのために 2 名で支援を行う事とした。</p>
ご家族	<p>ヘルパー支援の依頼をしたが、依頼時間が過ぎてもヘルパーが来なかった。</p>	<p>ヘルパー派遣漏れを謝罪。当日は派遣できるヘルパーがいなかったので、ご家族で対応して頂いた。別の日にヘルパー派遣を行った。</p>
ご家族	<p>1/15 雪の為 GH の迎えに行くのが遅くなりそうなので、GH 他利用者のヘルパーで子供を見守ってもらいたかったが、GH の支援者から「できないと思う」言われた。</p> <p>1/18 あしすとへ「そんな融通のきかないことでは困る」と苦情を寄せられた。</p>	<p>1/15 当日は、支援センターが、日曜出勤者で対応できるように調整を行ったが、それまでに GH へ迎えに来られた。</p> <p>1/18 に苦情を伝えられた際に緊急対応は支援センターでさせて頂く為、センターへ連絡頂くようお願いした。</p>

5. 職員研修・会議等

【職員研修】

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
11/16	H28年度大阪府内の知的障害者福祉関係機関職員に対する「第1回機関研修会」	大阪府障がい者自立支援センター	虐待防止	大阪府立急性期・総合医療センター	中江
12/9	法人全体研修	法人本部	ハラスメント	みらい	中江
2/17	法人全体研修	サービス向上委員会	障がい特性から見る支援の考え方	第2みらい	内海 山田

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
職員会議	12	毎月第1火曜日（センター長、主任、職員）
ヘルパー連絡会	3	4月・8月・12月 （センター長、サービス提供責任者、主任、ヘルパー）

- *その他 虐待防止委員会 2回、第三者委員会 2回
 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
 サービス向上委員会（主任、他）
 豊中市障害者居宅介護・移動支援事業者連絡会（センター長・主任・サ責）